

マイムの動きをベースに台詞を取り入れた独自の演出で、世代を超えた観客層の注目を集めているカンパニーデラシネラ。

“舞台表現がある一部の人のものではなく、誰もが出会える可能性を見つけ、一人でも多くの人目に触れたい”という想いを込めて、2011年に高知で始めたデラシネラの“古典名作劇場”第一作目は、ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』でした。全編上演は数時間かかるこの古典を、子供から大人まで楽しめる身体表現を織り交ぜた一時間の作品に仕上げ、その後日本各地で再演を繰り返しています。

第二作目となる今作では、セルバンテスの名作『ドン・キホーテ』を取り上げ、“騎士”と夢想する破天荒な男の珍道中を、デラシネラ流の身体表現に解釈し披露します。また、本公演に先駆けて、高知県内の小・中学校に出向き今作を上演する、出前演劇教室も開催します。待望の、デラシネラの“古典名作劇場”高知初演作の第二弾に、ぜひご期待ください!



『ロミオとジュリエット』静岡ストレンジード2016(撮影:山口真由子)、穂の国とはし芸術劇場(撮影:伊藤華織)

高知パフォーミング・アーツ・フェスティバル2016 カンパニーデラシネラ 「ドン・キホーテ」

原作/ミゲル・デ・セルバンテス テキスト/山口茜

演出/小野寺修二

美術/石黒 猛

出演/大庭裕介、崎山莉奈、仁科幸、葉丸翔、藤田桃子、小野寺修二

ディレクターズ・ノート 小野寺修二

子どもの頃、小学校校門前に自転車で、不思議な仕掛けのおもちゃを売りに来るおじさんがいました。子どもに媚びて売るでなく飄々と、しかしグッと釣り込む語り口を、皆で負けじと聞きました。子ども心に、怪しい匂いは嗅ぎ取って買う子は決まっていなくても(と言いつつ手に入れてみたい思いも抱え)、放課後おじさんを見つくと華やき心弾みました。舞台作品を子どもに見せる機会を得る度、そんな大人を思い出します。そして舞台表現の可能性を思います。

『ドン・キホーテ』について

17世紀初頭に発表されたスペインの作家、ミゲル・デ・セルバンテスの小説。自分を騎士だと思いこんだ男ドン・キホーテが、ハチャメチャな冒険を繰り返す物語。空想と現実、虚像と実像、様々なものが入り乱れ、奇想天外な騒ぎへとつながっていく。

カンパニーデラシネラ (Company Derashinera)

08年、小野寺修二セルフユニットとして設立。身体性に富んだ演劇作品に取り組み、マイムをベースに台詞を取り入れた独自の演出は、世代を越えて注目を集めている。国内での活動のほか、海外演劇祭への参加等多数。また、学校巡回公演や高校の芸術鑑賞会など次世代へのアプローチにも積極的に取り組んでいる。野外や美術館、アートフェスティバルなどへの参加も多い。白い劇場シリーズとして、15年3月にドストエフスキーの小説をベースにした『分身』、16年3月にアレクサンドル・デュマ・フィス『精姫』を上演。



撮影:石川純

小野寺 修二 (Onodera Shuji)

／演出家・カンパニーデラシネラ主宰

日本マイム研究所を経て、95年～06年、パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として1年間フランスに滞在。帰国後、カンパニーデラシネラを設立。15年度には文化庁文化交流使としてタイやベトナムでワークショップと作品発表を行った。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞。



藤田桃子 (Fujita Momoko)

／俳優

岡山県生まれ。両親は高知県出身。日本マイム研究所にてマイムを学ぶ。95年～06年、小野寺修二と共に立ち上げたパフォーマンスシアター水と油にて活動。その後08年カンパニーデラシネラ設立。以降すべての作品に出演または演出助手として参加。昨年出演の舞台『あの大鴉、さへも』(東京芸術劇場)では小林聡美、片桐はいりとの三人舞台で好演。

日程=2017年

3月3日(金) 開場18:30 開演19:00

4日(土) 開場13:30 開演14:00

開場18:30 開演19:00

※舞台上舞台のため、客席は各回100席ほどです。

チケット料金(全席自由・税込)=

一般前売 = 1,000円

一般当日 = 1,500円

小学生以下 = 500円(当日も)

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)は3割引です。(ローソンチケットは割引対象外)

《割引料金》一般前売券 = 700円

一般当日券 = 1,050円

小学生券 = 350円

前売券販売所=

高知県立美術館ミュージアムショップ/高新プレイガイド/
高知大丸プレイガイド/高知市文化プラザミュージアムショップ/
薬工ミュージアム/ローソンチケット(Lコード62347)

※ローソンチケットのみ県外店舗でも販売しています。

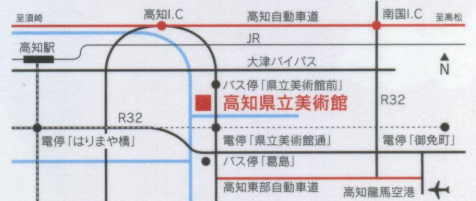
無料託児サービス
(予約制/定員10名)

公演をご覧になれる方で、託児をご希望の方はお電話で仮予約のうえお申し込み下さい。なおご利用は生後6ヶ月以上のお子様で未就学児童に限らせていただきます。

高知県立美術館 TEL 088-866-8000 (9時～17時) 締め切り=2月24日(金)

お問合せ=

高知県立美術館
THE MUSEUM OF ART, KOCHI
〒781-8123 高知市高須353-2 TEL088・866・8000 FAX088・866・8008
http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/museum



- はりまや橋からとさでん交通路面電車「ごめん」、「鑽石」または「文殊通」行きで15分、「県立美術館通」下車、徒歩5分。
- とさでん交通バス「医大病院線」、「県立美術館前」下車すぐ。「高知県立大学・医療センター線」、「県立美術館通」下車徒歩5分。
- 高知龍馬空港からは、とさでん交通バス「葛島」で下車して北東へ約900メートル、徒歩16分。
- 車・タクシーをご利用の場合は、JR高知駅から約20分。高知龍馬空港から約30分、高知自動車道南国インターから15分、高知インターから10分。

出前演劇教室への
2月23日(木) 高知市:高須小学校
2月24日(金) 日高村:加茂小中学校
2月27日(月) 香南市:岸本小学校
2月28日(火) 香南市:赤岡小学校

舞台監督 | 矢島健 照明 | 吉本有輝子、吉田一弥 音響 | 池田野歩 衣裳 | 駒井友美子(静岡県舞台芸術センター) イラスト&デザイン | チャーハン・ラモーン

主催 | 高知県立美術館 後援 | 高知県教育委員会、高知市教育委員会、NHK高知放送局、高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、エフエム高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、高知シティFM放送

協力 | 演劇祭KOCHI2017 支援 | 平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業